

平成30年10月開院

八重山圏域の新たな医療拠点として 地域に親しまれる病院を目指して

新八重山病院は、八重山圏域における中核病院としての機能を発揮し、地域に必要な医療提供体制の更なる充実を図るため、旧石垣空港跡地(石垣市真栄里)に新築移転することになっており、平成30年10月に開院します。可能な限り圏域内で完結できる医療機能を有し、患者や医療スタッフに優しく、将来の医療需要の変化に応じることができる施設を目指すとともに、大規模災害などに対応可能な医療施設となっています。

1 整備の必要性

八重山病院の歴史は昭和24年(1949年)に沖縄民生府立慈善病院として設立以来、一般医療はもとより、救急医療、小児医療、周産期医療、精神科医療など政策的医療において重要な機能や役割を果たしてきました。

しかしながら、昭和55年(1980年)に建設した現在の八重山病院の建物は、築38年が経過し、施設の老朽化や繰り返し改築により、大雨や台風時の雨漏り、非効率的な施設配置や駐車スペース不足など、様々な問題が発生しています。

そのため、新八重山病院は、これらの問題を解消し、八重山圏域唯一の公的総合病院としての役割を担い、安定した医療サービスを提供し続けることができる施設として整備したものです。

2 どんな病院ができるの？

① 八重山圏域における

中核病院としての機能を発揮

(1) 中核病院としての役割を果たし、医療機能を十分発揮するために必要な規模や設備を整備しています。

(2) 救急医療については、救急患者を迅速かつ安全に診療するため、救急部門と画像診断部門を隣接することで、効率的な動線確保することともに、救急部門から手術部門や集中治療部門へ迅速な搬送ができるよう設計されています。

(3) 周産期医療については、八重山圏域内で出産を扱う唯一の医療機関として、ハイリスク分娩にも積極的に取り組めるよう、旧病院に引き続きNICU(新生児集中治療室)を3床整備することともに、新たにGCU(継続保育室)を6床整備することで更なる充実を図っています。

(4) がん医療については、地域がん診

療病院としての役割を担っていることにより、将来にわたり、がん患者が住み慣れた地域で抗がん剤治療を受けられるように外来化学療法室を5床から15床に増床しています。

(5) 感染症対策としては、新型インフルエンザなどの感染症に対応するため、外来部門においては専用の入口や待合、診察室を設置することともに、一般の入院患者等と隔離された専用の病室・通路等も設置し、第二種感染症指定医療機関として対応可能な感染症病床を3床、結核病床を6床整備しています。

(6) 高度な医療を提供するため、臓器全体の機能診断や短時間での撮影が可能な320列のCT装置などの機器を新たに導入しています。

(7) 医療従事者の研修、教育のため、シミュレーションラボや研修ラウンジを整備し、研修、研鑽、ミーティングをおとして医療技術の向上を図ります。



新八重山病院外観

② 災害拠点病院としての機能を 持つ病院

(1) 台風や地震時だけでなく航空機事故等、八重山圏域で想定される様々な災害に対応できるよう、BCP(事業継続計画)にも配慮した施設となっています。

(2) 離島の特殊性を踏まえた自家発電機設備、給水設備、食料・薬品の備蓄などに配慮し、災害時にも診療を継続できる機能を有しています。

(3) 正面ロビー、研修室、リハビリテーション室などに医療ガス配管を設置し、災害時に多数の患者が発症した場合でも対応できるスペースを確保することで、迅速に傷病者のトリアージや診療を行える施設となっています。

※トリアージとは、患者の重症度に基づいて治療の優先度を決定して選別を行うこと。

③ 将来の変化に対応できる柔軟な 計画と維持管理に配慮した施設

(1) PCaPC造の採用により、高品質・高精度な構造となっています。また、構造体と内装や配管設備等をできるだけ分離することで、将来的な設備の増設や改修を行いやすくなるように、適切な維持管理を行うことで建物の長寿命化が図れる施設となっています。

※PCaPC造とは、工場で作られたコンクリート製の部材(柱、梁等)を、建設現場で圧縮力を加えて組立てる構造形式のこと。

工場製作のため、天候に左右されず安定した品質、精度が得られます。

(2) 将来の医療機器の導入や増設に対応するためのスペース及び設備を確保することで、進歩の著しい医療機器の変化に対応できる施設となっています。

④ 患者やスタッフが満足する病院

(1) 病院を利用するすべての人に分かりやすいユニバーサルデザインを採用し、アプローチ、エントランスホールなど、外来者等を快く迎えられるデザインとなっています。

(2) 患者やその家族、スタッフのために、心の安らぎが得られ、治療を引き出せる環境を創造することともに、教育・研修やコミュニケーションを図れる空間を整備しています。

⑤ 八重山らしさ、沖縄らしさを取り 入れ、住民に親しまれるデザイン

新石垣空港アクセス道路から見ることもできる八重山上布のミンサーの柄や、八重山自生の植物の配置、琉球石灰岩、木材などの八重山の自然建材を使用し、他にはない唯一のデザインとなっています。



1階 エントランスホール



1階 中央情報ラウンジ

診療科 (24 診療科)

- ◆ 内科
- ◆ 循環器内科
- ◆ 呼吸器内科
- ◆ 消化器内科
- ◆ 神経内科
- ◆ 腎臓内科
- ◆ 小児科
- ◆ 外科
- ◆ 呼吸器外科
- ◆ 消化器外科
- ◆ 心臓科(精神科)
- ◆ 泌尿器科
- ◆ 整形外科
- ◆ 産科
- ◆ 婦人科
- ◆ 耳鼻咽喉科
- ◆ 皮膚科
- ◆ 眼科
- ◆ リハビリテーション科
- ◆ 脳神経外科
- ◆ 麻酔科
- ◆ 放射線科
- ◆ 救急科
- ◆ 歯科口腔外科(新設)



病床数 (302 床)

4階	西病棟(内科)	40床
	(感染症)	3床
	(結核)	6床
3階	東病棟(内科)	49床
	西病棟(小児科、整形外科)	49床
2階	東病棟(外科、眼科、脳外科、皮膚科、耳鼻科)	49床
	ICU(集中治療室)	6床
	HCU(高度治療室)	8床
	NICU(新生児集中治療室)	3床
	GCU(継続保育室)	6床
1階	東病棟(産科、婦人科)	45床
	こころ科病棟	38床
		計 302床

※ICUとは、救命・生命維持装置を備え、機器により患者の状態を常時監視できる特別の病室。集中治療室。
 ※HCUとは、高度で緊急を要する医療を行うための病室。ICUよりは軽症な患者を収容する。
 ※NICUとは、早産などによる低体重児や先天性の重い病気を持つ新生児を受け入れ、専門医療を24時間体制で行う病室。
 ※GCUとは、NICU(新生児集中治療室)で治療を受け、低出生体重から脱した赤ちゃん、状態が安定してきた赤ちゃんなどが、引き続きケアを受ける病室。

施設概要

- 建設地：沖縄県石垣市真栄里584-1(旧石垣空港跡地)
- 敷地面積：約39,800㎡
- 建築面積：約10,200㎡
- 延床面積：約23,400㎡
- 階数：地上5階
- 構造：鉄筋コンクリート造(PCaPC造)
- 病床数：302床
- 駐車台数：536台



3階 西病棟(小児科)プレイルーム



320列CTスキャン(Aquilion ONE)

問い合わせ 病院事業経営課 電話：098-866-2636 FAX：098-866-2565

